

医療
見えない



院内製剤

医薬品医療機器等法(医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律)で承認を受け販売されている医薬品だけでは、多様な疾病を抱える患者さんに最適な治療を実施できないことがある。兵庫医科大学病院では、そのような患者さんに合わせた薬物治療を行うため、院内限定で使用する薬を製剤している。科学的・倫理的な妥当性を十分に考慮し、安全性や有効性、無菌性など、製剤していく中で品質管理が徹底されたものだけが患者さんのもとに届けられるのである。



①



②

① カプセル錠

粉碎し、粒度をそろえるためにふるいにかけて薬と、成形の向上や患者さんが服用しやすいようにする添加剤を少しずつ混合する。均一になるようによく混合された薬を丁寧にカプセルに充填していく。

② 坐剤

薬を飲み込むことが難しい患者さんや、直腸から薬を挿入したほうが効果をえられる患者さんのために坐剤は作られる。溶解した坐剤を形作る基剤に粉碎した薬を混合し専用の容器に流し込んで固形化していく。